

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第2節 第4日

開催日時 7月20日(月) 会場 広島広域公園 第2球技場 天候 晴

【全試合結果】

第1試合 10:00~

山梨学院 CROWNING GLORIES	9	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学
3勝0分0敗 勝点 9				0勝0分4敗 勝点 0

第2試合 11:40~

東海学院大学	4	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \\ 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	駿河台大学 LADYBIRDS
1勝0分2敗 勝点 3				0勝0分3敗 勝点 0

第3試合 13:50~

立命館大学ホリーズ	0	$\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-1 \\ 0-1 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	4	天理大学ベアーズ
1勝0分3敗 勝点 3				2勝0分1敗 勝点 6

第4試合 15:30~

コカ・コーラウエストレッドスパークス	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	南都銀行 SHOOTING STARS
3勝0分0敗 勝点 9				2勝0分1敗 勝点 6

第5試合 17:10~

ソニーHC BRAVIA Ladies	6	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 5-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクライン Orange United
3勝0分0敗 勝点 9				1勝0分2敗 勝点 3

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 9 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 聖泉大学

勝点 9 勝点 0
 3 勝 0 分 0 敗 8 PC 0 0 勝 0 分 4 敗
 25 シュート数 1

得点	山梨学院→1分藤井、5分佐藤、5分井澤、22分佐藤、23分河村、39分狩野、40分石橋、41分石橋、46分藤井		
	聖泉大→		
戦評	<p>聖泉大学のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々、山梨学院は、PCを獲得し、チャンスを迎える。#20藤井の豪快なヒットシュートが決まり先制する。その後5分に#5分に佐藤、#17井澤が得点し、山梨学院の勢いは止まらない。8分山梨学院は、#20藤井のフリックシュートを放つもゴールポストに当たりおしくも得点することが出来ない。負けじと聖泉大も攻めるが、山梨学院の堅いディフェンスを崩すことができない。第2Q、22分山梨学院#8西永のシュートが決まる。23分にも#12河村が落ち着いて決め得点する。第3Q 両者一步も譲らず均衡したゲームとなる。だが、39分試合が動く。PCを獲得した山梨学院の#18が上手くタッチシュートを決め均衡を破った。その後40、41分と得点し、8-0と点差がひらくことになる。第4Q 山梨学院PCからまたしても#20藤井のヒットシュートが決まる。聖泉大も攻めるが、なかなかサークルまでボールを持って行くことができない。結局 9-0で山梨学院が勝利を収めた。</p>		
テクニカルオフィサー	井上 美幸	アンパイア	押田 幸二
ジャッジ	山崎 泰敬、植村 佳央梨、伊豆味 櫻		山口 千恵美

第2試合

東海学院大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 駿河台大学 LADYBIRDS

勝点 3 勝点 0
 1 勝 0 分 2 敗 7 PC 3 0 勝 0 分 3 敗
 20 シュート数 11

得点	東海学院→10分中花、39分羽田、41分中花、58分八木		
	駿河台大→6分松本		
戦評	<p>駿河台大のセンターパスにより試合が開始された。両者一步も譲らず一進一退のゲームが開始される。6分駿河台大#21松本が押し込み先制する。このまま駿河台大が勢いに乗るかと思われたが、10分東海学院大#24中花が技ありのタッチシュートを決め試合を振り出しに戻す。第2Q 両者チャンスを作るも、得点までは至らず 1-1で前半を折り返す。第3Q 東海学院のペースで試合が進む。だが駿河台大も負けてはいない何度もチャンスを作るが得点することが出来ない。39分東海学院大#3羽田がGKを上手くかわし、シュートを決め特望の2点目を獲得。東海学院は勢いそのままに、41分PCで#24中花が綺麗なタッチシュートを決め駿河台大を突き離す。第4Q 駿河台大はPCを獲得しチャンスを迎える。強烈なヒットシュートを放つが、キーパーの好セーブにより得点することができない。対する東海学院もPCを獲得しゴール隅を狙った強烈なヒットシュートを放つが、駿河台大#12長岡の好セーブに阻まれる。58分東海学院大#14八木のリバースシュートが右下に突き刺さり得点する。結局4-1で東海学院大が勝利を収めた。</p>		
テクニカルオフィサー	杉原 治	アンパイア	内田 太
ジャッジ	奥田 泰之、松崎 鼓、新本 勝		中元 大輔

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

立命館大学ホリーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 4 天理大学ベアーズ

勝点 3 勝点 6

1 勝 0 分 3 敗 7 | PC | 4 | シュート数 | 12 | 2 勝 0 分 1 敗

得点	立命館→		
	天理大→ 4分森、27分田中、38分松本、48分松本		
戦評	天理大学のセンターパスにより試合が開始された。4分天理大#29森のスピード感湧れるドリブルから左上段に豪快なヒットシュートを決め先制する。対する立命館大はグリーンカードで2人退場になり人数の少ない天理大を攻め立てるが、天理大の堅い守備に阻まれる。第2Q 天理大学はPCを獲得。絶妙なタッチシュートが決まり、特望の2点目をもぎ取る。第3Q 開始早々、立命館大は、PCを獲得。強烈なヒットシュートを放つが、GKの好セーブにより得点することができない。対する天理大学、GKと1対1のビッグチャンスを迎えるが、GK#1要石の好セーブに阻まれる。しかし、38分天理大、PCから#10松本が豪快なシュートで3点目を獲得する。第4Q 48分天理大は、PSを獲得 これを#10松本がきっちり決め立命館大を突き離す。立命館大を反撃にできるが、天理大の堅いディフェンスを崩すことができない。結局 4-0で天理大が勝利を収めた。		
テクニカルオフィサー	藤村 利道	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	富田 恭平、井上 和香、井上 一美		児玉 茂樹

第4試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行 SHOOTING STARS

勝点 9 勝点 6

3 勝 0 分 0 敗 4 | PC | 2 | シュート数 | 2 | 2 勝 0 分 1 敗

得点	コカ・コーラ→19分加藤		
	南都銀行→		
戦評	南都銀行のセンターパスにより試合が開始された。めまぐるしく攻守の変わる展開となり、両者チャンスを作るものの、得点することが出来ない。第2Q 19分混戦の中抜け出したコカ・コーラウエスト#13加藤が落ち着いて決め特望の先制点をもぎとる。29分コカ・コーラウエストは、PCを獲得、#8小野のスweepヒットにより得点を狙うが南都銀行の堅いディフェンスに阻まれる。コカ・コーラウエストが1-0とリードのまま前半を折り返す。第3Q 37分コカ・コーラウエストは、華麗なパスワークで相手を崩し、ゴールに迫るが得点に結び付けることが出来ない。対する南都銀行、この試合、初めてのPCを獲得する。強烈なスweepヒットに上手くタッチで合わせたが惜しくもゴールの枠を外れるコカ・コーラウエストも果敢に攻めるが、南都銀行の堅い守りに阻まれ得点することができない。第4Q 両者一步も譲らない一進一退の攻防が続く、終了間際、南都銀行がPCを獲得、ここで決めたら同点となる場面、南都銀行のヒットシュートは惜しくも枠の外、結局1-0でコカ・コーラウエストが勝利を収めた。		
	井上 美幸	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	萩塚 柊未、鈴木 岳穂、吉本 美咲		藤原 真由美

ホッケー日本リーグ機構

第5試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 6 $\begin{pmatrix} 0 & 0 \\ 1 & -0 \\ 5 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクライン Orange United

勝点 9

勝点 3

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 0 分 2 敗

10	PC	2
18	シュート数	4

得点	ソニー→19分中島、32分金、32分金、37分義浦、45分深野、45分深野		
	グラクソー		
戦評	ソニーのセンターパスにより試合が開始された。両者一步も譲らず一進一退の攻防が続く、そんな中、ソニーはPCを獲得。シュートは惜しくも外れ、両者無得点のまま第1Qを終える。第2Q GSKは、上手いパスワークでソニーのゴールに迫る。対するソニーも素早いパスワークでゴールを脅かす。均衡を破ったのはソニー、19分混戦の中、#10中島がシュートを決め先制点をもぎとる。これで勢いづいたソニーは、たて続けにPCを獲得するがGSKの堅い守りに阻まれ追加点を取ることができない。1-0とソニーがリードして前半を折り返す。第3Q 32分に#9金が勝負強さを見せ追加点を挙げる。#9金の勢いは、止まらない、32分にも豪快なシュートを決めソニーを勢いづかせる。しかしそうはさせまいとGSKは、PCを獲得。GSKの強烈なフリックシュートは、おしくも枠を外れる。その後、ソニーは、37分#12義浦がシュートを決め4-0とGSKを突き離す。第3Q終了間際、ソニーは2点の追加点を挙げ6-0とする。第4Q 第3Qの勢いのままにソニーはGSKを攻め立てる。だが、GSKの堅い守りにより得点することができない。結局6-0でソニーが勝利を収めた。		
テクニカルオフィサー	杉原 治	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	吉井 貴子、山崎 泰敬、関根 由美子		我妻 順子